

2019春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス No. 9

2019年2月12日 日本鉄道労働組合連合会（JR連合）

J R 九州労組が「第31回定期中央委員会」を開催！

**「純ベア 3,000 円」を含む「月例賃金総額 6,000 円以上」をはじめ
「賃金改善要求 33 項目」「総合労働条件改善要求 48 項目」を決定！！
チャレンジ2018・「職場の働き方改善提言」に基づき
組合員・家族、グループ労組が一体となり総がかりの闘いを展開する！**

2月8日、JR九州労組は、福岡市内「TKPガーデンシティPREMIUM博多駅前」において、第31回定期中央委員会を開催し、安全の確立、2019春季生活闘争勝利、政策課題の解決、統一地方選挙や参議院議員選挙における推薦議員の勝利にむけた取り組みなどを柱とする、「当面する活動方針」を討議、決定した。

冒頭、中原中央執行委員長が執行部を代表して挨拶に立ち、去年は「平成30年7月豪雨」で筑豊本線や筑肥線、肥薩線が被災したことに触れ、一方で組合員やJR九州グループ関係社の懸命な復旧作業によって筑肥線・肥薩線の早期復旧が実現したこと、筑豊本線は来月9日に運転再開予定であることに感謝の意を述べつつ、毎年発生する自然災害は異常ではなく通常のものとして捉え、「防災・減災」の視点に基づく政策要求の実現、山積する産業政策課題の解決にスピード感をもって取り組む決意を述べた。また「安全の確立」については、九州でも墜落や交通事項等の重大労災が発生していることに触れ、今一度組織の垣根を超えた取り組みの必要性を訴えた。2019春闘については、昨春闘までの4年連続ベア獲得後も目標賃金水準には未到達であることに触れ、中期労働政策ビジョン「チャレンジ2018」の総仕上げとして、働き方改革関連法の施行や新中期労働政策ビジョンの策定、および会社の「新中期経営計画」のスタートを視野に入れ、労働組合側からの積極的な提言、労働条件の点検・見直し・改善に取り組む決意を述べた。12年に一度の「亥年」である本年の統一地方選挙と参議院議員選挙には、国民主権の政治を取り戻すべく組織の総力を挙げて推薦候補者の必勝にむけ臨む決意を述べた。政策課題の解決のためにも、各級議員との連携強化が極めて重要であるとし、各選挙における推薦候補の全員当選にむけた取り組みを強く訴えた。

来賓としては、参議院議員選挙に出馬予定の田村まみ氏（全国比例・UAゼンセン）、統一地方選挙に出馬予定の松尾哲也氏（大牟田市・組織内）、石松和幸氏（田川市・組織内）、権堂英樹氏（福岡市、私鉄総連）、近藤里美氏（福岡市、UAゼンセン）、そしてJR連合からは政所企画部長が出席し、熱い連帯・激励の挨拶を行った。

質疑では、11名の中央委員・特別中央委員より、安全の確立、2019春季生活闘争、効率化施策への対応、組織強化・民主化、青女体制・活動のあり方など、各種取り組みに対する活発な発言が行われた。そして執行部からの中間答弁、芦原書記長の総括答弁を経て、執行部から示された当面する活動方針案等の全議案は、出席者全員で確認・承認された。

最後に、強固なJR九州労組を創り上げ、様々な課題に積極果敢に取り組んでいくことを謳う委員会宣言を確認し、中原委員長の団結ガンバローで閉会した。

以上